

令和7年度第3回ひろおか文芸倶楽部【講演】

聴講無料

事件記者が語る②『日航機墜落事故』



※事故機の実際の画像ではありません

煙立ち昇る事故現場で見た惨状と『真実』

今から40年前の昭和60年8月12日午後6時12分。お盆の帰省客など509人と乗員15人を乗せ、羽田空港を離陸した大阪行き日本航空123便。離陸直後に幾度かの爆発音の後、操縦不能に陥り、約32分間の迷走の末に群馬県上野村の山中に墜落した。524人中4人が救出され、520人が死亡。単独機による事故としては世界最多の犠牲者を出した大惨事となった。

事故発生の一報を受け、煙が上がった方角に向け夜の登山道を進み、翌13日早朝に現場に到着。目に飛び込んできた凄惨な光景。事件事故の現場取材に慣れた記者でも目を伏せるほどの、まさに「地獄絵図」だった。いち早く、まだ煙が立ち昇る現場に入ったカメラマンが見た生々しい現場の様子や、抱いた「違和感」とは一。

第1弾「あさま山荘事件(昭和49年)」取材記者対談(令和6年8月実施)に続き、第2弾の今回は「日航機墜落事故」を担当した報道カメラマンに話を聞きます。

日時/会場 8月9日(土) 広丘公民館「えんてらす」
(定員80人)

アクセス：JR広丘駅より徒歩1分

開場/受付 午後1時40分～ 講演 同2時～3時

元 信濃毎日新聞社写真部カメラマン
MGプレス カメラマン 丸山 祥司氏

問・申し込み

平日 午前9時～午後5時

広丘公民館

電話 0263-52-0157

メール hirooka@city.shiojiri.lg.jp



- ▶申し込みは先着順で、Googleフォーム／メール／窓口／電話で受け付けます
- ▶対象は中学生以上でお住まいは問わず ▶右QRコードの申し込み専用Googleフォームが便利です
- ▶講師の急な体調不良による中止や延期の場合は、申し込みの方に個別に連絡します